



外観パース



内観パース

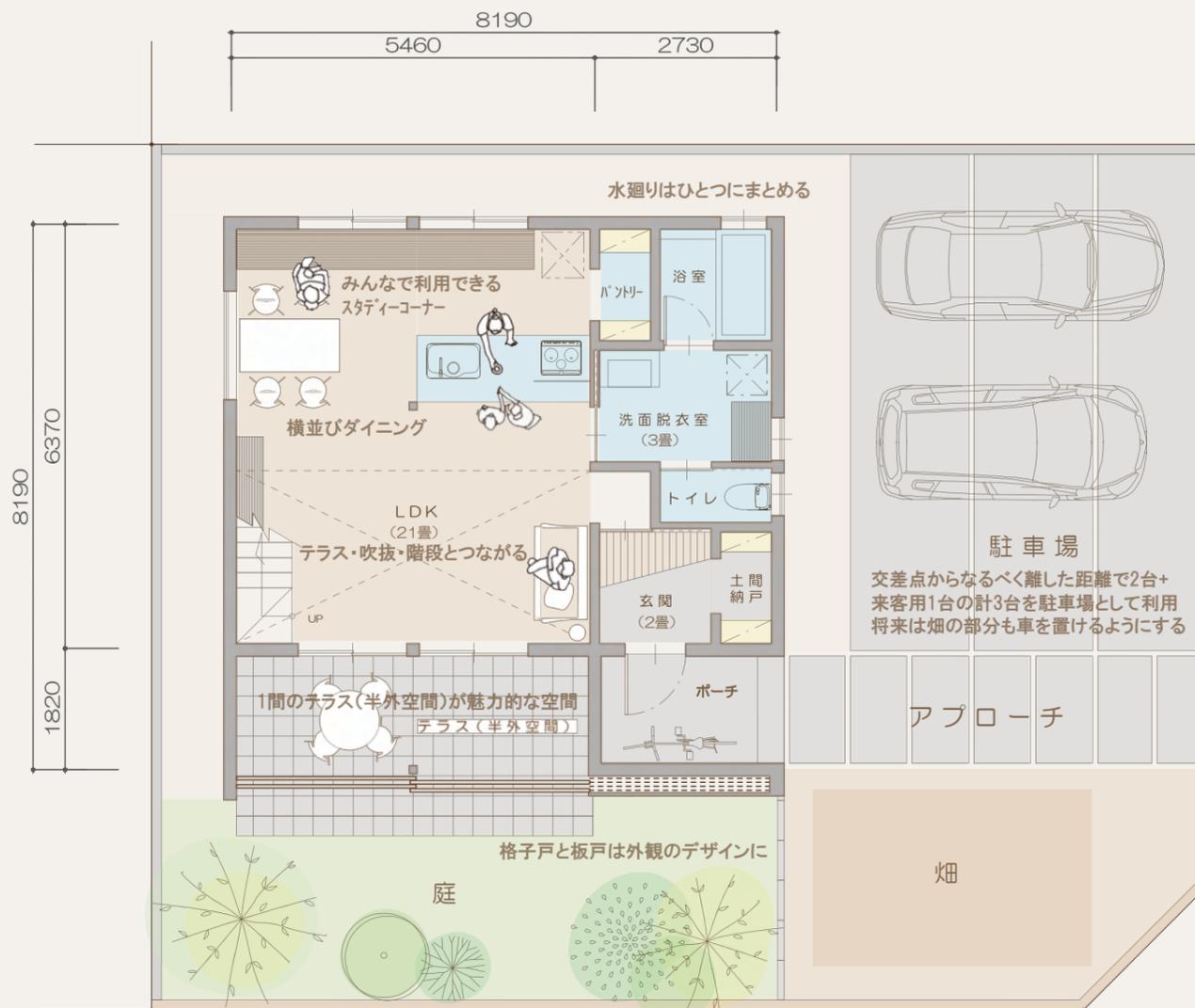
Terrace + house Concept

建物本体は間口4.5間×奥行3.5間のベースから屋根を1間吹き下ろし、テラス部分に格子戸と板戸を設けることで『日射遮蔽』『通風』『目隠し』『防犯対策』などの役割を果たし、テラス（半外空間）をより快適な空間になるように計画した。

また、太陽熱を最大限に活用できるように南面の屋根の面積を大きくすることも考慮した。

なるべくシンプルな『かたち』と『間取り』にすることで、スケルトンインフィルの考えと経済的な面にも配慮した。

敷地や家族構成、要望、予算に合わせて建物のベースを「4.5間×奥行3.5間」「4.0間×3.5間」「4.0間×4.0間」から選択できるように提案する。



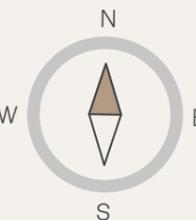
配置図兼1階平面図 SCALE 1/100



2階平面図 SCALE 1/100

子供室は将来的に1部屋にも使えるように、可変できる収納で仕切る

寝室から物干しができるようにバルコニーは壁で囲い視線を遮る



面積表

| | | |
|-------|---------|----------|
| 敷地面積 | 205.98㎡ | (62.30坪) |
| 建築面積 | 67.07㎡ | (20.29坪) |
| 1階床面積 | 52.17㎡ | (15.78坪) |
| 2階床面積 | 52.17㎡ | (15.78坪) |
| 延床面積 | 104.34㎡ | (31.56坪) |

概要

対象敷地：埼玉県熊谷市
地域区分：6地域
家族構成：夫婦2人 + 子供2人

背景

全国的にも日射量の多い地で年々地球温暖化による気温上昇から、夏の日射を遮蔽する工夫を再検討するべきではないかと考えてた。4人家族が“ちょうどいい距離感”と“時間の経過”に合わせた可変可能な間取り+LDKを極力広くとりテラスから庭へと緩やかに繋がること、31.5坪と限られた坪数でありながら大きな吹抜を設けることで開放的な空間となるように工夫した。また、外観のデザインを特に重視し、シンプルなボックス住宅に+αのテラスを組み合わせることで、環境だけでなく、空間性や暮らしの豊かさを普及させていきたいと考えた。

建物仕様

屋根：ガルバリウム鋼板
外壁：ガルバリウム鋼板 + 塗り壁の組み合わせ
断熱材
壁：羊毛断熱材120mm
屋根：羊毛断熱材120mm + フェノールフォーム60mm
内部床：無垢フローリング15mm
壁：珪藻土
天井：ムク板材12mm、和紙

性能

UA値：0.42W/㎡・K
C値：0.5cm²/㎡
太陽光発電：6.0kw
設備：空気集熱ソーラー搭載

構造

木造2階建て

株式会社小林建設
亀倉 治



外観パース（格子戸）



外観パース（板戸）



内観パース

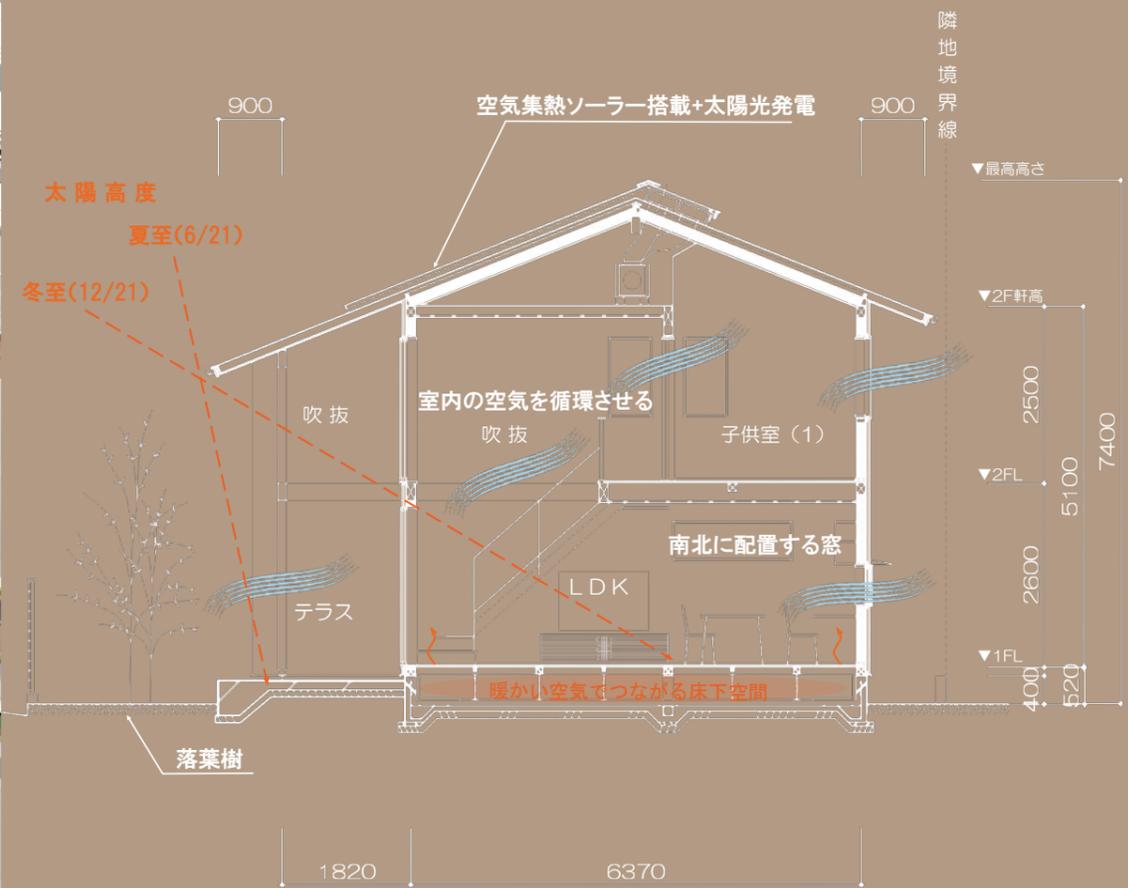
格子戸の様子（冬至）・・・格子の柔らかい日が入り込む



内観パース

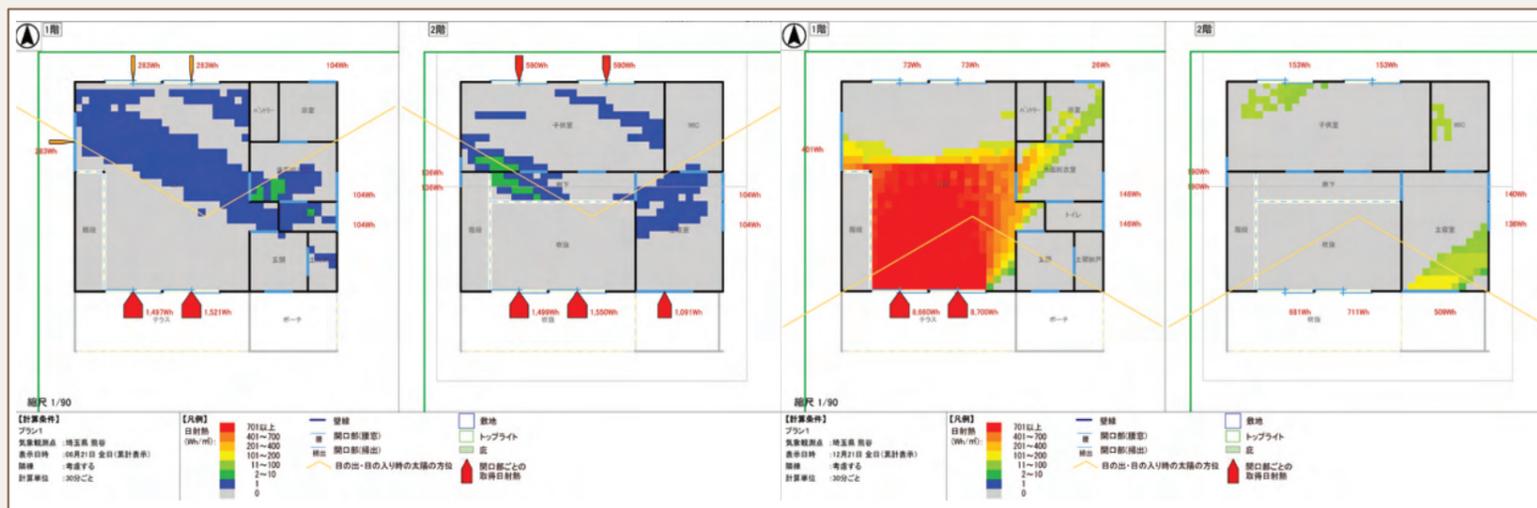
板戸の様子（冬至）・・・板戸を閉めても日が入り込む

パッシブデザインとアクティブデザイン



断面図 SCALE 1/100

ホームズ君での日射量検討



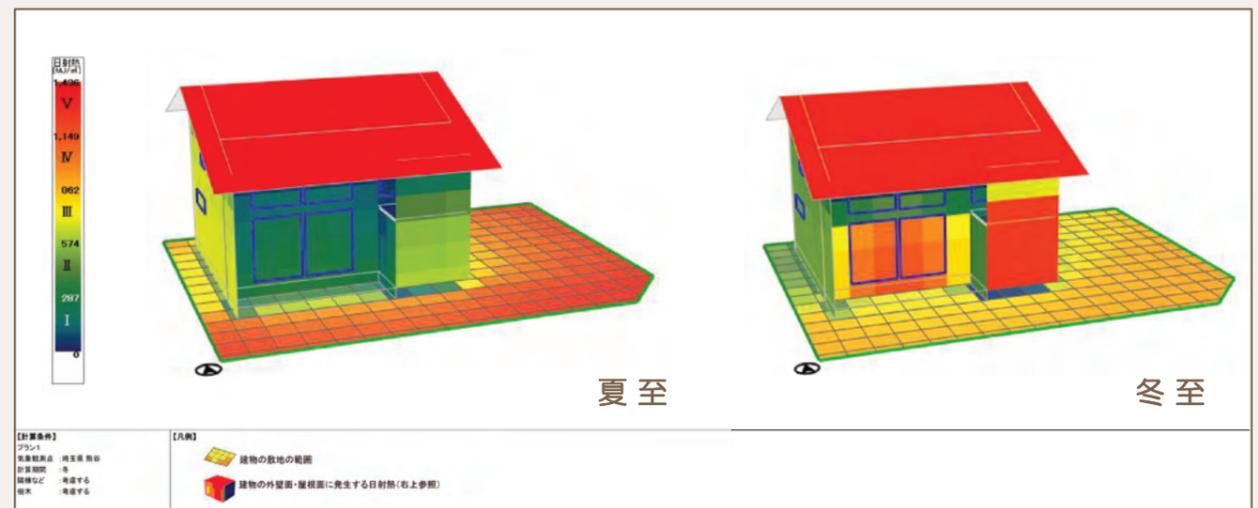
夏

1間のテラスを設けることにより、夏の日射をしっかりと遮蔽する
太陽光パネルで空調のエネルギーを賄う

冬

冬の太陽高度が下がることにより、軒が深くても日射が十分に入る
夜はテラスに蓄熱されることで放熱する

太陽熱利用



夏至

冬至